

II 島田市公式ホームページ 媒体評価

島田市公式ホームページについて、「自治体ウェブサイト評価チェックポイント」に基づき、ウェブサイトの専門家で、当協会の広報アドバイザーである白旗保則氏が、さまざまな観点から評価した。これは、その結果をまとめたものである。なお、評価は2014年8月時点の島田市公式ホームページを対象に実施したものであり、その後の更新情報等は反映されていないことをご了承いただきたい。

それぞれの項目で、1から5とあるものは「評価ポイント」である。数字が大きいほど評価は高い。

採点結果一覧は以下の通り。

採点結果一覧		
1	トップページ	[4]
2	構成	[4]
3	表現	[3]
4	検索性・操作性	[4]
5	速報性	[3]
6	実用性	[3]
7	双方向性	[3]
8	コンテンツ	[4]
9	グラフィック・デザイン	[4]
10	ユニバーサル・デザイン	[3]

1 トップページ

サイトの全体像が把握できるつくりになっている
情報の整理・分類がきちんとされている
検索機能がある（検索入力ボックスなど）
インターフェース・デザインがよいetc

[評価：4]

(1) 島田市を表現したデザイン

現在のトップページは、島田市らしさのあるデザインになっている。特に市を代表する祭りや風景・施設は島田市の特徴をよく表している。欲を言えば、それぞれの画像などから祭りや風景・施設などが説明されているページへのリンクがあるといいのではないか。例えば「島田大祭の大奴」の写真をクリックすると、「島田大祭」のページに誘導するような仕組みである。

グローバルナビゲーションの真上という目立つ位置で島田市らしさを写真で情報発信しているので、それぞれの詳細情報が分かるように、本文ページに誘導したほうがいい。

この写真をクリックすると、「島田大祭」のページに誘導する仕組みがほしい。



(2) 項目が整理され、うまくまとめられている

「暮らしのかんたん検索」「島田市の元気発信」「電子行政サービス」など、関連する情報がうまくまとめられて掲載されている。また、「ゆめ・みらい百人会議」「島田市の借金時計」など、トップページからオリジナルコンテンツへの誘導もうまく設計されている。

(3) バナーの扱いはぜひ改善を

バナーが左右と下部に配置されているが、数が多く、結果として目立たない存在になっている。左側のバナーは、バナー間の余白をもう少し多めに取るだけでもそれぞれが目立つようになるので改善をお願いしたい。

また、下部のバナーの塊は、広告なのか市のサイトなのかがはっきり認識できない。「島田市博物館」「島田市立図書館」など、見る限り市の関連施設がほとんどで、施設のサイトや、市の当該ページなどにリンクしているバナーではある。しかし、「川根温泉ホテル」のような市以外の施設のバナーもあるため、現在の状態では広告と間違えてクリックされないのではないか。優劣をつけるか、左右に配置するなど工夫が必要である。

2 構成

利用者の立場に立った構成・設計になっている

行政が伝えたい情報、市民等が知りたい情報がきちんと掲載されているetc

[評価：4]

(1) カテゴリー分類は分かりやすい

「くらし・手続き」「子育て・教育」など、大カテゴリーは分かりやすく分類されている。なかでも「茶・産業・ビジネス」は島田市の特徴を表したラベリング（項目の名前付け）がされていて好感が持てる。

(2) 部署を横断するコンテンツはひとまとめに

各部署を横断するコンテンツとして、「申請書ダウンロード」はうまくまとめられている。しかし、各部署に点在する「よくある質問」や「相談窓口」はまとめられて提供されていない。一度全体のコンテンツを棚卸して、「申請書ダウンロード」同様に各部署を横断するコンテンツとしてまとめたページを作ってみてはどうか。



よくある質問

(ホーム > 子育て・教育 > 子育て > 子育て支援施設 > こども館 > よくある質問)



よくあるご質問

(ホーム > まちづくり > 下水道 > よくあるご質問)

※「よくある質問」「よくあるご質問」となっているのは、どちらかの表記に統一を。



国保Q&A

(ホーム > くらし・手続き > 保険・年金 > 国民健康保険 > 国保Q&A)



心の相談窓口

(ホーム > 健康・福祉 > 健康・医療 > 健康啓発・相談 > 心の相談窓口)



高齢者虐待等の相談窓口

(ホーム > 健康・福祉 > 福祉 > 暴力・虐待 > 高齢者虐待通報)



教育に関する相談

(ホーム > 子育て・教育 > 教育 > 教育に関する相談)

3 表現

分かりやすい文章・表記になっている
分かりやすい解説や説明がされているetc

[評価：3]

(1) 分かりやすい文章・表記になっている

全体を通して各ページとも分かりやすい文章で表現されている。

特に利用者の頻度が高い「ごみ・リサイクル」や「保険・年金」などにまとめられている各情報は詳細に記載され、必要に応じて写真やイラストなどもあり、分かりやすく表現されている。

(2) 重要な情報までPDFでしか提供されていないページがある

利用者の頻度が高いページの中に、一部PDFでしか提供されていないケースがある。PDFはファイル容量も大きく、アクセスする側の端末に負担がかかり、閲覧しにくい場合がある。

また高齢者・障害者への配慮（アクセシビリティ）という点でも、好ましくない。極力HTMLでの提供をお願いしたい。



志太・榛原地域救急医療センター・休日急患診療所・当番医はPDFでしか見ることができない。

島田市 Shimada City
人と産業・文化の交流拠点
水と緑の健康都市 島田

文字サイズ: 拡大 標準 縮小 色合い: 標準 青 黄 黒

サイト内検索: Google あるいは 検索

組織案内 | サイトマップ | お問い合わせ
Foreign Language | 携帯サイト

ホーム | くらし・手続き | 子育て・教育 | **健康・福祉** | スポーツ・観光・文化 | まちづくり | 茶・産業・ビジネス | 市のしくみ・財政

ホーム > 健康・福祉 > 福祉 > 暴力・虐待 > 高齢者虐待通報

暴力・虐待

- 高齢者虐待通報
- 高齢者虐待防止

高齢者虐待通報

高齢者虐待「通報シート」対応マニュアル

→連絡方法、高齢者虐待のサインなどは、虐待防止のページをご覧ください。

Excel 通報シート(エクセル:238KB) 介護保険事業者用

島田市高齢者虐待対応マニュアル

- PDF 表紙等の印刷(113KB)
- PDF 第1章高齢者虐待とは(PDF:344KB)
- PDF 第2章要請者による高齢者虐待への対応(PDF:397KB)
- PDF 第3章要請介護事業者による虐待への対応(PDF:251KB)
- PDF 高齢者虐待などの相談窓口(PDF:186KB)
- PDF 関係法令-通知(PDF:2892KB)
- PDF 様式集(PDF:1411KB)

高齢者虐待通報の対応マニュアルは、すべてPDFで提供されている。

4 検索性・操作性

必要な情報にすぐにとり着ける
ナビゲーションの工夫がされていて、使い勝手がいい
表示時間が早いetc

[評価：4]

(1) ナビゲーションは使いやすい

グローバルナビゲーションに加え、ローカルナビゲーションも設置されており、操作性を向上する工夫がされている。



(2) 「暮らしのかんたん検索」をより充実させて

関連する項目をまとめて一覧できる「暮らしのかんたん検索」は高く評価できる。ただし、掲載内容についてはもう少し関連する情報をピックアップして掲載してもいいのではないか。他市の例を参考に、より使いやすい「暮らしのかんたん検索」になるよう努力し

ていただきたい。

橿原市の同類項目と比較した例



妊娠・出産



結婚・離婚



高齢・介護

(3) サイト内検索はヒットしやすい

サイト内検索機能で、「ゴミの分別」「粗大ごみ」「保育園」などいくつかのキーワード検索を試みたが、いずれも結果は目的のページにたどり着けた。検索は特に問題なく機能している。

(4) ページ内の項目ごとにタグを付けたい

「資源とごみの分け方・出し方」のページで、例えば「乾電池」をクリックしても、「資源の分け方・出し方」のページトップに移動するだけである。ページトップには「古紙」の収集回数や出す場所などの情報があり、一瞬、誤操作をしたような状態になる。スクロールしていけば、「乾電池」の収集回数や出し方の情報が出てくる。

ページ内の項目ごとにタグを付けて、ページ内の当該項目にリンクするような工夫がほしい。

5 速報性

頻繁に更新されている
常に新しい情報が掲載されているetc

[評価：3]

(1) 頻繁に更新が行われている

「お知らせ」や「新着情報」については、頻繁に更新されており、積極的に情報を発信していく姿勢が感じられる。

(2) イベントや募集など広報紙との連動を

他市のホームページに掲載されている「イベント」や「募集」などの情報が掲載されていない。「広報しまだ」に掲載されている情報は市民に伝えるべき情報だと思われるので、同じ情報をホームページにも掲載してはどうか。



大和高田市：広報紙に掲載されているイベント情報をホームページでも発信している。

6 実用性

電子自治体としての窓口機能を有している
各種申請書のダウンロードや公共施設の予約などができるetc

[評価：3]

(1) 電子行政サービスは平均的なものがそろっている

オンラインサービスとして、「図書館蔵書検索・予約」「電子申請サービス」「申請書ダウンロード」が提供されている。また、トップページに「電子行政サービス」が設けられていて一覧できる点も良い。ただし、「施設情報」は用意されているものの、他市にあるような「施設検索・予約」が用意されていないようである。情報システム部門と導入を検討してみてはどうか。

7 双方向性

ツー・ウェイ・コミュニケーション機能が活かされている

掲示板や会議室などで市民等と行政の、市民相互の意見・情報交換がされているetc

[評価：3]

(1) 双方向性のコンテンツは用意されている

「ご意見・ご要望」「パブリックコメント」のほか、ページごとに「お問い合わせフォーム」があるなど、広聴に関するコンテンツが用意されている。ただ、課題がいくつかある。

まず、「ご意見・ご要望」に関しては、市民から寄せられた意見や要望に対する回答を、「主な意見と回答」として公開してみてもどうか。そうすれば、ほかの市民の意見やそれに対する市の回答を共有できていいのではないかと。

また、市民は常に市のウェブサイトを訪れているわけではないので、パブリックコメントでは、「募集中の案件」だけでなく、「今後予定している案件」の一覧も掲載してはどうか。それにより、意見を持つ市民が、いつからパブリックコメントが開始されるのかが分かり、意見を寄せやすくなるのではないかと。

The screenshot shows the Yamagata City website's 'Public Comment' page. At the top, there is a navigation bar with categories like '暮らし' (Living), '子育て・教育' (Childcare/Education), '医療・福祉' (Medical/Welfare), '文化・スポーツ' (Culture/Sports), 'コミュニティ' (Community), '観光' (Tourism), '市政情報' (Municipal Information), '入札・契約' (Bidding/Contracts), '融資・支援' (Lending/Support), and '情報登録' (Information Registration). The main content area is titled '今後実施されるパブリックコメント' (Public Comment to be Implemented in the Future) and includes a table of upcoming cases.

件名	案の公表日	募集期間	担当課	問い合わせ
第6期町田市介護保険事業計画(中間答申)	2014年10月上旬	公表日から おおむね30日間	高齢者福祉課 介護保険課	042-724-4048 042-724-4366
町田市指定介護予防支援事業の基準等に関する条例(案)	2014年10月上旬	公表日から おおむね30日間	高齢者福祉課 介護保険課	042-724-4048 042-724-4366
町田市地域包括支援センターの包括的支援事業の基準等に関する条例(案)	2014年10月上旬	公表日から おおむね30日間	高齢者福祉課 介護保険課	042-724-4048 042-724-4366
(医療)生物多様性保全計画(案)	2014年10月下旬	公表日から おおむね30日間	環境・自然共生課	042-724-4391
町田市子ども子育て支援事業計画(案)	2014年12月上旬	公表日から おおむね30日間	子ども福祉課	042-724-2676
町田市地域防災計画(修正案)	2014年12月上旬	公表日から おおむね30日間	防災安全課	042-724-3218

更新日: 2014年4月1日

今後、意見の募集を予定している事業は下記のとおりです。

■ パブリックコメント手続きを実施する予定の事業

公表方法

町田市：「パブリックコメント」に「今後募集予定の案件」が掲載されている。

(2) ソーシャルメディアを積極的に活用している

ツイッター、フェイスブックなど、外部のサービスを利用して積極的に情報発信を行っている。特にフェイスブックでは、テーマを絞ったものを複数立てることでターゲット別の情報発信が出来ている。

ただし、ツイッターのフォロワーやフェイスブックの「いいね」の数をみると、もう一段の努力が必要だと感じる。

特に、ツイッターはホームページの更新情報が中心である。ツイッター独自の情報発信(つぶやき)を心がけるなどの工夫がほしい。

8 コンテンツ

コンテンツにオリジナリティーがある
楽しめる要素がある
外国語ページなども丁寧に作られている
携帯版やメールマガジンなどでも情報発信を行っているetc

[評価：4]

(1) 「島田市の魅力」はうまくまとまっている

「島田市の魅力」には、「富士山静岡空港」や「大井川」など、島田市を代表する施設や自然などが紹介されている。また、それらのページから関連する各ページへのリンクもあり回遊性が高められている。次の課題は、コンテンツの充実。リニューアル当初に作られてから更新されていない印象を受けるが、出来れば定期的に見直していただきたい。

(2) さまざまなオリジナルコンテンツが用意されている

「1 トップページ」でも触れたが「ゆめ・みらい百人会議」「島田市の借金時計」「eコミュニティしまだ」など、さまざまなオリジナルコンテンツが用意されている。特に「eコミュニティしまだ」はブログと連動していることもあり、日々情報が更新されていて見応え・読み応えのあるサイトに仕上がっている。

他市の事例を参考に、さらなるパワーアップをお願いしたい。



足立区：「足立区職員を目指すみなさんへ」



高槻市：「職員採用情報（平成26年度）」

（3）多言語サイトはより充実を

多言語ページとして「Foreign Language」が用意されているが、自動翻訳のみである。自動翻訳以外のコンテンツも用意して、多言語ページの充実を図ってはどうか。

また、自動翻訳した際にグローバルナビゲーションなどの画像は日本語のまま残ってしまう。これでは、外国人が日本語と母国語の両方が入り混じったページを見ることになる。言語ごとの画像を用意すれば、翻訳エンジン側の機能により、言語ごとに画像が切り替わることが可能になる。



浜松市：英語やさしいにほんごなど、8言語でさまざまな情報を提供している。


横須賀市 Yokosuka City
文字サイズ [拡大](#) [縮小](#) 色変更 [標準](#) [1](#) [2](#) [3](#)

[組織案内](#)
[お問い合わせ](#)
[意見](#)
[サイトマップ](#)
[Foreign Language](#)
[携帯サイト](#)

[ホーム](#)
[くらし・環境](#)
[健康・福祉・教育](#)
[観光・文化・スポーツ](#)
[産業・まちづくり](#)
[市政情報](#)

ホーム > Foreign Language 更新日: 2013年3月28日

Foreign Language

じしんとでんきのニュース (Information on Earthquake and Blackout)

がいこくのニュース (Multilingual information about Earthquake)

- ◆ [じしんのニュースをがいこくであられるホームページ\(外語サイト\)](#)
- Multilingual information on the 2011 Tohoku Earthquake and Tsunami
(from the website of Tabunka-Kyousei Manager Zenkoku-Kyogikai)
- ◆ [神奈川県 \(Kanagawa Prefecture\) \(外語サイト\)](#)

Foreign Language

<p>Yokosuka City Official Home Page</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Yokosuka Call Center ◆ Welcome Message ◆ Yokosuka Basics ◆ Sightseeing ◆ Living in Yokosuka 	<p>横須賀市役所案内</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 沿革 ◆ 横須賀市の概況 ◆ 注目の情報 ◆ 生活情報 	<p>ヨコスカ市立型 多国籍交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 国際交流 ◆ ヨコスカ市の交流 ◆ ヨコスカ市の国際 ◆ 国際交流
---	--	---

Yokosuka Call Center

Phone 046-822-2500
Fax 046-822-2539
Hours of Operation
8:00 a.m. - 8:00 p.m.
Feel free to call us in English.

[広報](#)

- ◆ [広報の声\(ポイス・バンク\)](#)
- ◆ [広報の声\(ポイス・バンク\)](#)
- ◆ [広報の声\(ポイス・バンク\)](#)

[よこすかカレンダー](#)
[よくある質問](#)

[横須賀市紹介](#)
[わが街ガイド\(地図検索\)](#)
[横須賀市を訪れる方へ](#)
[横須賀の方へ](#)

横須賀市：自動翻訳以外にさまざまな情報を提供している。

9 グラフィック・デザイン

見やすい、分かりやすい、きれい
デザイン・テイストが統一されているetc

[評価：4]

(1) 細部にわたって島田市らしさを表現している

「1 トップページ」でも触れたが、島田市らしさのあるデザインになっている。トップページだけでなく、見出し1に大井川の流れを表すような曲線を用いたり、フッタに大井川鐵道を走るSLの写真を用いたりするなど、細部にわたってデザイン設計されている。あえて注文をつけると、7月から9月までは、「きかんしゃトーマス」が大井川鐵道を走るのだから、その期間中は、フッタのSLを「きかんしゃトーマス」に変更するなどの遊び心があってもいいように思う。もちろん、使用許諾が必要ではあるが。



大井川の流れのような曲線や大井川鐵道のフッタが島田市らしさを演出している。

10 ユニバーサル・デザイン

JIS 規格 (X8341-3) に準拠しているetc

[評価: 3]

(1) チェッカーによるチェック結果

チェッカーで若干の問題点が発見された。結果を分析し対応を検討していただきたい。
トップページの各種チェッカー結果は、以下の通り。

●「miChecker」によるチェック結果

音声ユーザビリティ

「問題あり」が0か所、「問題の可能性大」が3か所。



●ロービジョン

「問題あり」が0か所、「問題の可能性大」が0か所。



(2) 「みんなの公共サイト運用モデル」への対応

「ウェブアクセシビリティ方針」が掲載されているが、「みんなの公共サイト運用モデル」でいう「ウェブアクセシビリティ方針」と比較すると掲載内容が少ないようである。ウェブアクセシビリティ基盤委員会が公開している「ウェブアクセシビリティ方針策定ガイドライン 2013年8月版」を参考に、内容を見直していただきたい。また、「みんなの公共サイト運用モデル」が提示している〈期限と達成等級の目安〉を参考に、40～50ページ程度、等級AA(ダブルA)に準拠したページの試験結果の公開にも取り組んでいただきたい。

参考：「みんなの公共サイト運用モデル」が提示している〈期限と達成等級の目安〉

●既に提供しているホームページ等

- ・2012 年度末まで 「ウェブアクセシビリティ方針」策定・公開
- ・2013 年度末まで JIS X 8341-3:2010 の等級Aに準拠（試験結果の公開）
- ・2014 年度末まで JIS X 8341-3:2010 の等級AAに準拠（試験結果の公開）

参考：「ウェブアクセシビリティ方針」

Web Accessibility Infrastructure Committee

参考

運用モデルの付属資料「ウェブアクセシビリティ方針策定・公開の手順書」も参考にするとよい。

必ず含める事柄

- (1) 対象範囲
アクセシビリティ対応の対象とするホームページ等を記載します。
(例: ●●県公式ホームページ、●●市子育て支援サイト、●●区施設予約システム等)
- (2) 目標を達成する期限
いつまでに目標を達成する予定かを記載します。
- (3) 目標とする達成等級
目標とする達成等級を記載します。
- (4) 例外事項(ある場合)
選択した達成等級に該当する全ての達成基準を適用することが原則となりますが、「2現状把握(4ページ)」で明らかとなった諸事情により、適用できない達成基準がある場合は記載します。同様に、対象外とするコンテンツがある場合は記載します。
- (5) 追加する達成基準
選択した達成等級以上の達成基準を追加する場合は、記載します。

含めることが望ましい事柄

- (1) 担当部署名
担当部署名を記載します。
- (2) 現時点で把握している問題点
「2現状把握(4ページ)」で明らかとなった問題点を記載します。
- (3) 現時点で把握している問題点への対応に関する考え方
問題点について、対応の考え方を記載します。

出典：ウェブアクセシビリティ基盤委員会／ウェブアクセシビリティ方針策定ガイドライン 2013年8月版
<http://waic.jp/docs/accessibility-plan-guidelines/201308/>

「試験実施ガイドライン」

40～50ページの選定を示している部分

Web Accessibility Infrastructure Committee

b) ランダムに選択する場合

ランダムに選択する方法は、ランダムサンプリングにより試験の対象を特定して試験を実施する方法である。全てのページを選択する方法に比べて、達成基準を満たしていない問題のあるページを見逃してしまう危険はあるが、現実的な時間とコストで信頼性のある試験を実施できる方法である。見逃してしまう危険を小さくするにはサンプルサイズを大きくすればよい。全体の傾向だけを知るためには、少ないサンプル数でも有効である。8.1.2 b) では、サンプル数の目安を示していないが、8.3「試験結果の表示」の8.3.2「ウェブページ一式の場合」では、試験対象としたページのURIとページ数を明記することになっている。サンプリングや抜き取り検査の一般的なサンプル数の決定方法によると、サンプル数の決定は、全ページ数には大きく依存せず、数十ページの試験を行えば一定の信頼度で全ページに問題がない事を確認できることがわかっている。そこで、本ガイドラインでは、サンプル数の目安として、表1の数値を用いることを推奨する。なお、調達に対する試験でこの方法を用いて試験の対象を選択する場合には、発注者及び受注者双方の合意の下、仕様書や契約書でサンプル数をあらかじめ決定しておくことが望まれる。

表1 選択するページ数の目安

選択するページ数	説明
10ページ以下	試行的な試験であり、合否を判定するには少ない
11～24ページ	合否判定に要する最低限のページ数
25～39ページ	合否判定に要する標準的なページ数
40ページ以上	合否判定に十分なページ数

c) ランダムでない方法で選択する場合

この方法は、ウェブサイトを利用する利用者の視点で、利用に支障が大きいかどうかを確認するために効果的な方法である。たとえば、トップページが達成基準を満たしていないと、サイト全体を利用することが困難になる可能性があり、重要性が高い。しかし、この選択方法は全サイト全体の全ての試験対象をカバーしていない。また、多岐にわたる多岐にわたる試験対象をカバーする必要がある。

出典：ウェブアクセシビリティ基盤委員会／JIS X 8341-3:2010 試験実施ガイドライン 2012年11月版
<http://waic.jp/docs/jis2010-test-guidelines/201211/>

(3) PDFではなくHTMLでの情報掲載を

「3 表現」でも触れたが、PDFは視覚障害者が利用する音声読み上げソフトでは、正しく読まれないことが多い。また、利用者によってはPDFファイル形式だと分かった時点で先に進まないこともある。

特に高齢者や障害者向けのページについては、PDFのみの情報提供は出来る限り避け、HTMLでの情報掲載をお願いしたい。

1.1 総評

全体としてレベルの高いホームページに仕上がっている。課題は「暮らしのかんたん検索の充実（「4 検索性・操作性」の項を参照）」「コンテンツの充実（「6 実用性」「7 双方向性」「8 コンテンツ」の項を参照）」「アクセシビリティ対応（「10 ユニバーサル・デザイン」の項を参照）」である。前述した課題を踏まえ、改善をお願いしたい。

総論では、今回特にアドバイスの希望があった「各課ホームページ更新担当者のモチベーションの保ち方」「アクセシビリティ意識の向上」「広報紙、FM番組との効果的な連携の仕方」について触れる。

（1）各課ホームページ更新担当者のモチベーションの保ち方

各課にとってホームページの更新が直接自分の部署の仕事と結びつくことが認識できないため、モチベーションを保ちにくいというのは各自治体共通の課題である。

モチベーションを保つためには、「ホームページの更新＝業務への成果」として見ることが重要。成果は、アクセスログの伸び率と考え、成果の見えやすいイベントや住民の注目しやすいテーマを選んで、下記のような流れで取り組んでみてはどうだろうか。

- ① イベントやテーマのページを作成
- ② プレスリリースやSNSなどそのページの広報の強化
- ③ 成果として該当ページのアクセスログの伸びを統計化
- ④ それを事例として、効果があったことを庁内にPR

（2）アクセシビリティ意識の向上

各課の担当者にとって、アクセシビリティの必要性は自分が健常者であることが多いゆえになかなか理解しにくい。それを改善するために、定期的に高齢者や障害者からの情報提供や意見交換の場を設けてはどうだろうか。

- ① 視覚障害者に登壇いただく講演会を開催（普段、どのように使っているか、何が役立っているかなど、操作だけでなく役立っていることを講演）
- ② 社会福祉協議会やNPOなどと連携して、意見交換会を開催
- ③ 総務省の提供するビデオを活用し、障害者の閲覧状況を知る

「公共分野におけるアクセシビリティの確保に関する研究会」

障害者のホームページ利用方法の紹介ビデオ

ここではウェブアクセシビリティ維持・向上の取組の必要性を強く実感していただくため、障害者のホームページ利用の方法を紹介した映像等をご覧いただけます。

(平成17年12月15日撮影分)

■視覚障害者(全盲)のホームページ利用方法(5分5秒)

(研究会構成員 静岡県立大学 石川雄教授)

○動画(WMV)(ブロードバンド用) ○動画(WMV)(ナローバンド用)

※ 上記の映像は、本研究会の構成員である静岡県立大学の石川雄教授にご協力いただき、本研究会報告書(製本版)の添付CD-ROMに記載されているものです。

(平成18年1月16日撮影分)

<視覚障害者(盲視)のホームページ利用方法(4分40秒)>

(伊敷 敦英 氏)

○動画(WMV)(ブロードバンド用) ○動画(WMV)(ナローバンド用)

■身体不自由者のホームページ利用方法(5分15秒)

(平野 忠雄 氏)

○動画(WMV)(ブロードバンド用) ○動画(WMV)(ナローバンド用)

※平成17年部に上記研究会で、地方公共団体等で実践可能なウェブアクセシビリティ維持・向上の取組モデルとして策定された「みんなの公共サイト運用モデル」は平成22年度に改定されました。改定された「みんなの公共サイト運用モデル」の詳細については、以下のリンクよりご確認ください。

[「みんなの公共サイト運用モデル」改訂\(平成23年3月\)](#)

[戻る](#)

Copyright © 2005 Ministry of Internal Affairs and Communications. All Rights Reserved.

障害者のホームページ利用方法の紹介ビデオ（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/2005/051215_1_wmv.html

その他、下記の資料も参考にしてほしい。

みんなの公共サイト運用モデル（2010 年度改定版）

付属資料3 高齢者・障害者のホームページ利用確認ガイド

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/w_access/pdf/index_02_05.pdf

(3) 広報紙との効果的な連携の仕方

「5 速報性」でも指摘したが、広報紙のイベント・募集などの情報がホームページには掲載されていないようである。原因は、広報紙とホームページとで別々に情報収集し、掲載しているという、ワークフローの二重化が原因ではないか。広報紙への掲載依頼もホームページ同様にCMS上で行うなど、ワークフローの一元化が広報紙とホームページとの情報共有のひとつのポイントになるので、検討してみてはどうか。

(4) FM番組との効果的な連携の仕方

ホームページはプル型メディアなので、別の手段で広報しないと急激なアクセス数の伸びはない。それを補完するメディアとしてFM番組を利用してはどうか。FM番組では、時間の制限があり多くを伝えることができない。この情報量の制限を補完する目的として、ホームページに誘導してはどうか。ただし、FM番組内でURLを伝えるのはリスナーへの負担となるので、検索キーワードや検索IDなど覚えやすく分かりやすい言葉のみで誘導する仕組みが必要である。目的は違うが、長久手市は広報紙の記事をIDで検索できる機能を提供しているのでヒントとして紹介する。



長久手市：記事ID検索